

大学COC事業における政策提言発表会

尼崎市内では、兵庫県立大学と本学の2大学が市内をフィールドに大学COC事業を展開しており、毎年、市長臨席のもと両校の学生たちが調査・研究・立案した、市の課題解決に向けた政策プランの発表会を開催。本学からは、下記の3チームが発表

- ・「これからもずっと佐環丘の緑と生きるために」（児童教育学科）
- ・地域志向科目「大学の社会貢献」で実施した、授業内コンペの優秀チーム
- ・「さんさんタウン活性化大作戦」（生活文化学科・総合健康学科・人間看護学科・食物栄養学科）
- ・「企業と学生がつながる尼崎産業の魅力発信 人との繋がりー私達の未来ー 訪問先企業名(株)エーデルワイス」（総合健康学科・食物栄養学科）



文部科学省 地(知)の拠点

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

〈地域〉と〈大学〉をつなぐ 経験値教育プログラム

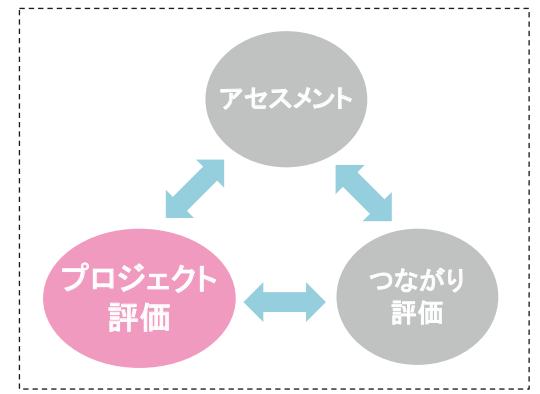
平成25年度、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に採択されました。尼崎市を中心とした地域での学びによって経験値を高める教育を目指しています。健康づくり、学校教育、生涯学習、子ども・子育て支援の4部門を設け、地域の拠点となり、地域課題の解決の一翼を担っています。〈地域〉と〈大学〉をつなぐ経験値教育プログラムは学部・学科を越えた横断的な教育・研究・社会貢献の体制を、地域連携推進機構を中心に築いています。

園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部

平成28年度版

地域志向科目「つながりプロジェクト」

本プロジェクトを通して、社会で求められている自ら学ぶ力、気づく力、考えぬく力、コミュニケーション力、協働する力を身につけて多面的に課題に向き合える人間となり、活性化した地域社会の実現への貢献を目指す



特色① 多彩な21のプログラム

つながりプロジェクトでは、地域志向教育研究の4テーマ「健康づくり」、「学校教育」、「生涯学習」、「子ども・子育て支援」を主軸にし、多彩な先生方による、魅力的な21のプログラムを展開

特色② 学部学科を横断し、1クラス18名程度の少人数体制

この授業では、人間健康学部と人間教育学部あわせ、2年次生の約370名が履修し、21の多彩なプログラムにわかれるため、1クラス18名程度の少人数体制が実現

特色③ 地域のなかで総合的に学習

大学が立地する尼崎をフィールドとして、尼崎市内の行政をはじめ、NPOや自治会等の地域団体と連携することで、地域の特性と課題を実際に肌で感じ、尼崎市内における本学の役割、さらには学生自身が大学で学ぶことの意義と責任、地域社会で自己が担うべき役割等について学ぶ



まちの相談室

地域の皆様から学生へ向けた、地域のボランティアやイベント情報を入手する大学の窓口として機能。学生の代表として「つなGirl」と、地域連携推進機構の職員が対応 (ex) 平成27年度 相談件数81件



必ず事前にご予約ください

まちの相談室 <予約制>

場所 本学3号館1階 まちの相談室
連絡先 学生地域連携推進委員会
メール sonodachiiki@gmail.com
お電話 06-6429-9921

まちの支援員

地域のニーズを受け止め、「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」の各分野で人材を育成する講座等を地域とともに開講

学生地域連携推進委員会

(通称: つなGirl)

平成26年4月に発足した委員会「つなGirl」の名前の由来は、学生と地域を「つなげる」×「女子」大学生コンセプト

つながって、まきこんで、楽しんで、笑顔が生まれて、またつながって

まちの相談室で受け取ったボランティアやイベント情報を学内に発信し、〈地域〉と〈大学〉の仲介役として活躍



経験値教育

園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部

地域連携推進機構 〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
Tel : 06-6429-9921
Fax : 06-6422-8523
E-mail : chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp
ホームページ : http://www.sonoda-u.ac.jp/chiiki/

平成28年度
研究テーマ

学生を主体とした、
地域学校への
情報教育
応援活動

地域に向けた
手洗い指導の
拠点の構築

庄下川の河川環境を
利用した児童生徒の為の
環境学習プログラムの
構築

尼崎市に住む
高齢者のための
運動交流プロジェクト
実践と普及

健康意識の高い町・
尼崎の土台づくりと
食育の定着について

地域志向教育研究

尼崎市の多様な地域課題のなかで「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」を中心に、地域のニーズを積極的に受け止めた調査・研究を推進

地域と大学の
連携・協働による
子ども・
子育て支援

地域資源を活用した
まちづくりモデル
構築のための
基礎的研究

授業における
関心・意欲・態度の
向上を目指す
タブレット端末活用
リーフレットの作成

災害伝承を活用した
地域防災教育
プログラム構築に
関する研究

尼っ子の
スポーツ振興
プロジェクト

「生活」をテーマに、
地域に根ざした
生涯学習プログラム
生活の知恵再発見
(食生活、衣生活編)

まちづくり解剖学

教職員・学生・自治体職員・地域住民
等が集まり、地域社会の課題を共有し、
意見交換する定期的な研究会



単身高齢者の割合が高い
⇒ 介護予防の観点から
の健康の支援



就学援助を受ける児童生徒
⇒ 確かな学力の定着に
向けた取り組み



多様化・高度化する
ニーズに応じた学習や
スポーツの機会の提供

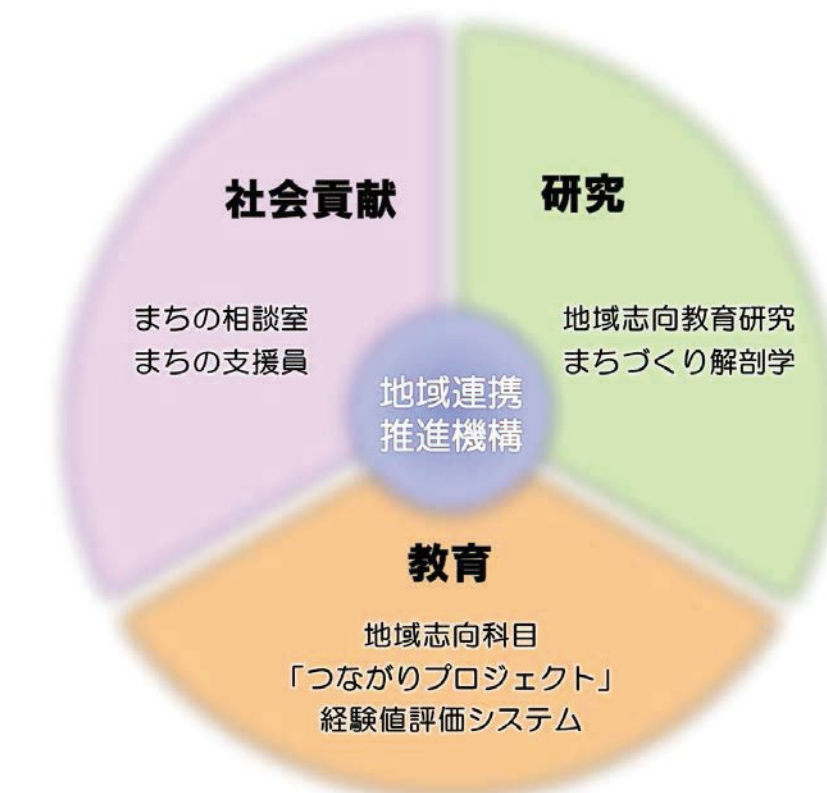


単身世帯の割合や
若年者の出産数が多い
⇒ 家庭・地域の子育て支援

地域とともに50年 これまでも、そしてこれからも

園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部は、建学の精神「捨我精進（しゃがしょうじん）」のもと「地域と共に歩む大学」として、地域に開かれた大学づくりを推進してきました
本事業では、多様な地域課題のなかで「健康づくり」「学校教育」「生涯学習」「子ども・子育て支援」を中心に地域課題の解決に向けて、「知」の拠点としての役割を強化した全学的な教育改革を行います

本学の教育コンセプトである循環型の「経験値教育」の実質化を目指し、尼崎市をフィールドに演習科目「つながりプロジェクト」を新設し、地域とともに調査・研究した後、提言を行います
人間力を高めることができたかを測る「経験値」を多角的に捉え、人と人の「つながり」を可視化することを一つの指標として、学生自らが「経験値」を自覚することができる新しい評価システムを構築します
「経験値教育」による、多面的に課題に向き合う、社会に有用な人材の育成を目指します



経験値教育

人材育成像 「経験値」の高い人材の育成
「経験値」とは、地域での学びを通して、教室で学んだ理論的なことが証明されたり、納得・実感することで、理論と実践がむすびつき、さらに次への学びへと発展させる「知識」を「知恵」に変える力

地域の声を反映した人材育成

- (1) 学生の地域活動に対して、地域の人々から直接評価をもらう
- (2) 「まちの相談室」「まちづくり解剖学」において、地域の課題を受けとめ、地域志向教育研究に反映



全学横断 地域志向科目の設置

本学は「実学的な女子教育」を志向し、国家資格の養成課程を中心に教育課程を編成しているため、専門分野を横断する教育課程を再編
地域社会の多様な変化に対応でき、主体的、能動的に学ぶ姿勢を養い、多面的、多角的に事象を捉えることができる人材を育成する**CBL科目**を新設

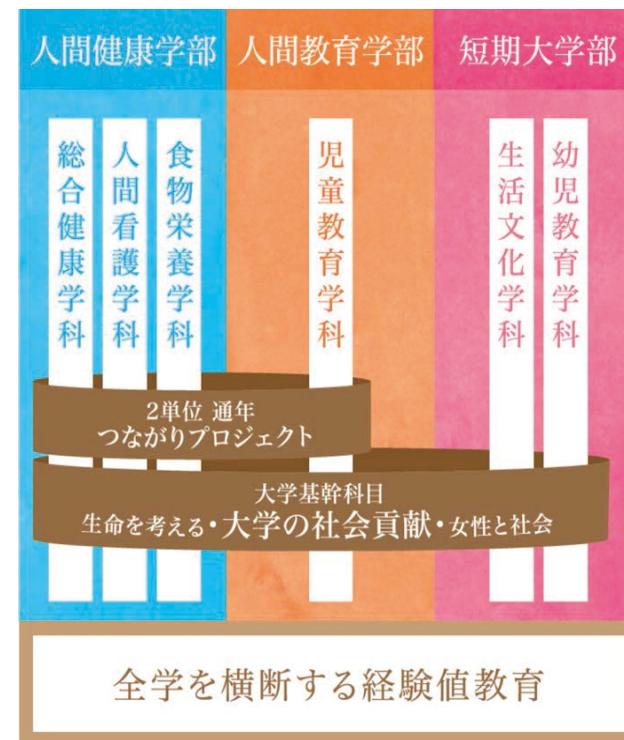
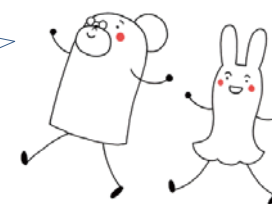
Community Based Learning -学びのコミュニティ-

※本学が養成する国家資格は、複雑・多様化する社会において多職種間の連携を図ることが求められているため、学部学科の専門領域を越えた、多分野と協働する学びのコミュニティの形成を目指す

「大学の社会貢献」
(1年次・半期・2単位・選択)
大学が立地する尼崎市の特性と課題を学び、それらの課題の解決策について市に提案する
そのことを通して、地域社会における大学の役割、学生自身が大学で学ぶことの意義と責任、自己が担うべき役割を自覚させるプロジェクト導入科目

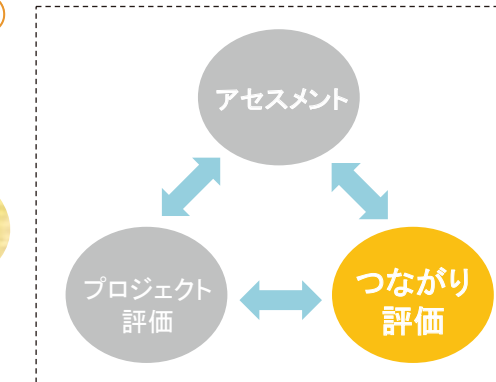
「つながりプロジェクト」
(2年次・通年・2単位・必修)
“平成28年度始動”
尼崎市の地域課題に即したテーマについて、尼崎市や尼崎商工会議所等とともに取組み、課題解決に向けての企画、提言を行うPBL型の演習科目
学部学科を横断することにより、複眼的、多面的に課題に向き合う力を養成

上記の科目は、
3年次生以降、
各研究演習へと
つながります



経験値評価システム

本学の特色である、「知識」を「知恵」に変える循環型の「経験値教育」を実質的なものとするために、導入した新しい評価システム
地域において、学生がどれだけの「経験」を積み、人間力を高めることができたかということを自ら実感できる指標を策定



つながり評価活動報告

学生が操作する「地域連携活動報告ページ」のなかの1つ

PC画面では、以下のように表示されます
画面の上部は、メインメニュー
画面の右側は、ログインしている学生の各種情報
左側の大きなスペースでは、各活動報告の入力や、つながりリストなど



つながり評価つながりマップ

「つながりマップ」では、地図を用いてつながった方々の写真と位置を表示
地域との「つながり」の数をデータ出力することで、自らの「つながり」状況から満足感、充実感を感じられるよう工夫



地域連携活動コメント

学生と住民の方との「つながり」毎に、IDとパスワードが発行
学生のコメントページへのアクセスおよび記入は、発行されたIDとパスワードを入力することで可能

